

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	吉川市こども発達センター		
○保護者評価実施期間	令和7年11月25日		～ 令和7年12月26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 19人
○従業者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11人	(回答者数) 10人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月27日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育所給食の提供、配置基準以上の職員配置、作業療法士・言語聴覚士等の専門職の配置し、身近生活動作や集団活動、様々な活動を通して、発達に課題を持つお子さんやその家族の支援を行っている。	専門職を含め、職員が定期的に支援会議を開催し、個々のお子さんへの支援について、支援内容を検討している。	毎回の送迎時に保護者との連絡を密に行う。
2	公立事業所であることから、市役所を始め関係機関との連携が図りやすい。	就学準備の情報提供を積極的に行い、放課後等デイサービスの情報提供や、教育センターや特別支援学校と情報共有を図っている。	引き続き、就学先に迷いのある保護者に対し、寄り添いながら丁寧に対応する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	児童発達支援センターの中核機能としての家族支援やスーパーバイズコンサルテーションの役割が不足している。	家族支援等の事業や相談事業を専門的に行う職員を配置できず、児童発達支援事業との兼務で実施している。	現在の事業運営の整理を行ったうえ、保護者支援事業の企画等、新たな事業を実施していく。また、スーパーバイズコンサルテーションを担える人材を育成する。
2			